

第 261 回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 令和2年10月12日(月) 11:00~12:30

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 5人
出席委員数 4人

(1) 出席委員の氏名 小笠原 伸 (委員長)
青木 敬信
新井 啓泰
高橋 淳

(2) 欠席委員の氏名 君島 理恵

(3) 放送事業者側出席者 鈴木 峰雄(代表取締役社長)
佐藤 望(放送部長)
福田 勇貴(放送部)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

今年10月、新番組としてスタートした番組「DJ Keiの土曜学校」、
パーソナリティはDJ Kei(菊池元男)の放送を試聴し意見交換を行った。

事業者:「人生100年時代を生き抜く」をテーマに、健康・住まい・ビジネスなど、
様々なジャンルのプロフェッショナルの先生方に、DJ Keiがリスナーの代表として
講義を受け、素朴な疑問・質問をぶつけ、解決の糸口を見つけていく番組です。

【 番組の試聴 】

委員: 授業形式の番組は様々なメディアで取り上げられ、人気を博している。
企画としてはとても興味深いし、DJの声質も良く、聞いていて安心感がある。
メインの授業は、登場した先生の話も興味深く、聴いていて収穫の多い内容であった。
しかし、先生ばかりが話している印象がありどんどん話が先に進んでいき、入り込めない印象もある。重要なキーワードが出るたびに、話を整理して展開できると良いと思う。
事前に、話す内容の取材や質問等の整理を行っているのか疑問を感じる。
また、幅広い内容よりも、ジャンルをもっと絞ってクローズアップした方が聴きやすいと思う。

委員: 企画内容は面白く、DJ、ゲスト共に発音が良く聴きやすい印象である。
冒頭で、先生どんな病院で、どんなことをしているのかを具体的に説明してほしい。

先生の話の中で、具体的な数字やデータの話題になり、聴いていて説得力があったが、「なぜその数字が出たのか？」など、理由をもっと聴きたかった。

委員：「学校」という設定だが、番組の方向性が定まっておらず、理解できない部分があった。設定をしっかり決めて、事前打ち合わせ、構成を立ててから収録した方が良いと思う。メインの授業では、ほとんどゲストの先生が話しており、ある意味任せすぎている印象。DJの立ち位置、方向性をはっきりさせてインタビューをする必要があると思う。また、専門用語は専門外のリスナーでも理解できるよう分かりやすく説明してもらえると聴きやすい。全体的に聴いていて物足りない印象が残る。

委員：地元のゲストを招き、話を聞いていく番組は非常に貴重だと思う。ゲストに頼りすぎず、DJも入り込んでトークを展開できると良いと思う。この番組の肝は、ゲストのキャスティングだと思う。世の中に伝えたい情報や問題意識を持っている人が望ましいだろう。メイン授業と課外授業のクオリティの差がはっきりと出てしまい同じ番組だと違和感がある。また、内容が宣伝のように聞こえてしまうため、取り上げ方を工夫すべきだと思う。ハウスメーカーの場合、営業マンが出るとやはり宣伝のような感じに聞こえて通常のレポートと変わらない印象にもなる。番組のテーマ「人生100年時代」というのは、大きなテーマであり幅広いことなので、今後番組を制作する上で足かせになるのではないかな？放送局全体として、局で「学校」の放送を行っていることを周知し、この番組を核としてアーカイブを増やしていけると良いと思う。1回目の放送という事で、今後の放送に期待したい。

(以上)

(2) その他

来年4月の編成における、委員の番組全般に関する意見交換。
鈴木社長 挨拶

(3) 次回開催日程について

回りの開催を11月9日(月)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

- (1) 放送 10月25日(日)午後7時55分の「レディバ`リーイフオメ`ソ」内
- (2) 書面 本社事務所に備え置き
- (3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項
なし